

VMwareから移行するなら オープンソースで柔軟な仮想化を実現

VMware 現状維持？それとも転換？		
	現状維持	転換
メリット	何も変えなくて良い	<ul style="list-style-type: none">・コストダウンの可能性が大きい・オープンソース化の可能性はある
課題	<ul style="list-style-type: none">・VMwareのライセンス費用が高騰・サポート契約終了や更新コスト増加	新環境における アプリケーション稼働の保証の有無

— Proxmox Virtual Environment —

Proxmox VEへの移行

コストを削減し、シンプルで直観的な管理を可能に

Proxmox VEは、さまざまな技術スタックにより、多くの企業の仮想化ニーズに応えています

オープンソースの
仮想化プラットフォーム

KVMとコンテナの
ハイブリッド環境

日常的なバックアップから
復旧までスムーズ

シンプルなWeb UIで
容易な管理

ユーザーが
カスタマイズや拡張も可能

活発なコミュニティと
定期的なアップデート

Proxmox VEの導入により、得られる主要なメリット

柔軟性

フル仮想化のKVM（カーネルベース仮想マシン）とコンテナ仮想化のLXC（Linuxコンテナ）の両方をサポート。ユーザサイドでリソースを配分し、同一インターフェースで一元管理が可能。

高可用性

高可用性クラスタリング機能で、自動的に障害検知し仮想マシンを別のノードへ移行。バックアップとリカバリのプロセス簡易化で日常的なバックアップから復旧まで、スムーズに対応可能です。

コスト削減

オープンソースモデルなら、初期導入費用や運用コストを大幅に削減できます。仮想マシンとコンテナのハイブリッド運用によりリソースの最適化を図り、全体の運用コストの削減にもつながります。

日本初のProxmoxシルバーパートナー代理店である株式会社アクシスと提携、サポート提供も可能です

お問い合わせ

詳細な内容や、ご質問・ご相談はお気軽にお問い合わせください。

✉ vt-sales@v-t.co.jp ☎ 03-6823-6789 (受付時間 平日10:00~17:00)

お問い合わせ
フォーム ▶

